

# 大学における産学連携機能の充実強化に関する検討会(議論のまとめ)(平成30年7月) 「イノベーションシステムにおける大学の研究成果の活用推進に資する技術移転機能等の最適化に向けて」(概要)

## I. 現状・課題

### 【大学に求められる役割】

① 大学は、イノベーションシステムの根幹として、**研究力の向上と研究成果の社会還元**の充実を図ることが求められている。

### 【研究成果の活用に係る現状と課題】

② **イノベーション創出**の上で、**知財は必要不可欠な存在**。  
知財の主な活用方策は、共同研究、ライセンス、大学発ベンチャー創出。このうち共同研究は、「組織」対「組織」の本格的共同研究を通じてオープンイノベーションを推進。

③ しかし、**知財収入の観点からは、保有する研究資源に照らして、知財活用が不十分な大学が各地に存在**。

(原因) 戦略面での知財戦略・技術移転マネジメントの不全  
実施面での技術移転機関(TLO)等の活用非効率

④ 大学の知財の産業技術への応用展開を担うTLOの中には、平成28年度に純損失を計上した機関が40%であるなど、**ライセンス活動が必ずしも活発ではないTLOが一部存在**。  
他方で複数大学との取引により、安定的な収入を得ているTLOも存在。

※TLO: Technology Licensing Organization (技術移転機関)  
全国に20機関存在(外部型)

## II. 取組の方向性

【大学】  
**知財戦略・技術移転マネジメントの推進、TLO等との効果的連携の推進**

【TLO】  
**技術移転活動の水準向上**

【政府】  
**TLOが不存在等の地方における大学の技術移転活動を補完する機能の確保**

我が国大学における知財活用の最大化

## III. 具体的取組

資料3-1

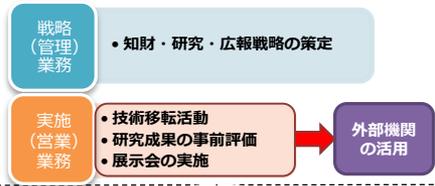
科学技術・学術審議会  
産業連携・地域支援部会  
(第18回) H30.10.24

### ① 大学における戦略の徹底、組織・機能の強化等

- (i) 効果的な知財戦略・技術移転マネジメントの推進
  - ・経営資源としての**単独特許の確保**
  - ・早期からのマーケティングによる**事業化視点での技術移転活動**

- (ii) 関係機関との有機的連携の推進
  - ・**戦略(管理)業務と実施(営業)業務に応じた実施態勢**

- 実施(営業)業務は外部機関の活用促進
- ア. TLO活用推進
  - イ. 大学間連携(URAのクロスアポイントメント)
  - ウ. 大学等連携推進法人(仮称)の活用可能性



### ② 大学とTLOとの連携の在り方

- 【大学側】
- ・TLOの活用の検討
  - ・TLOとの緊密な関係の構築  
(優れた知財の供給、資本参加)



- 【TLO側】
- ・TLOの趣旨は**技術移転活動**であることの再認識
  - ・規模確保のため**複数大学との連携促進**
  - ・連携する大学に対応した**専門人材、機動力の充実**

### ③ イノベーションマネジメントハブ(仮称)の形成

- ・TLOの不存在等の地方においては、大学の技術移転活動を補完する**技術移転の拠点(ハブ)を形成**



- ・各地方のハブを更にネットワーク化し、**国内外から高い注目度を有するセンター的拠点を形成**  
(コンタクトポイント一元化による産業界の利便性向上、外国からの投資の円滑化を推進)

# イノベーションマネジメントハブ形成支援事業

2019年度要求・要望額

: 112百万円 (新規)

参考



## 背景・課題 <大学における知財活用の課題>

### 知財収入が不十分

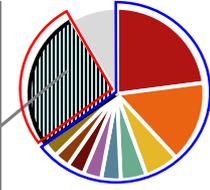
- 我が国の大学における知財収入は、一部の大学に偏在している。地方の有力大学の中には、TLOが存在等の地方に立地し、研究者数、研究実績等に照らして十分な知財収入が確保できていない。

技術移転のサポート不足により  
収入停滞

10~100百万円未満 (33大学)  
計 9.2億円  
(全体の26%)

潜在力の高い基礎研究実績大学の  
充実に課題

(例: 科研費獲得10億円以上)



平成28年度知的財産権収入額  
(35.5億円)

TLO活用による収入確保

1億円以上 (9大学)  
計 23.2億円  
(全体の65%)

更なる拡大を促進

- 地方の場合、域内の優良な大学知財を集約し、産業集積地(都市部)に売り込む機会が限定的。また、企業のニーズを大学の研究計画段階から反映する機会も乏しい。

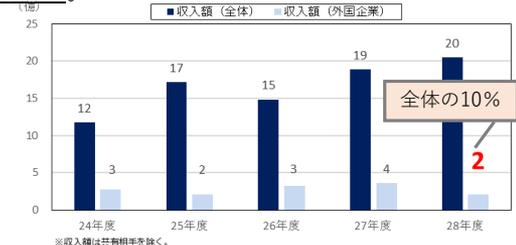
\* TLO : Technology Licensing Organization (技術移転機関)

## 新たな資金調達に向けたツールの利用が限定的 (優れたTLOの活用、外国企業との取引)

- 地理的制約から、優れた技術移転活動を行う先進的TLOと優良な知財を有する複数大学との取引の機会が不十分。
- 世界に照準を定めた場合、専門人材を通じたチャンネルが不足しているため、外国企業からの受入額が乏しい。



※TLOが存在等の地方が発生



【民間企業からの特許権実施等収入額の推移】

## 事業概要

### 【事業の目的・目標】

知財の積極的活用に向け、

先進的TLOによるイノベーションマネジメントハブを全国に形成

~ハブは、地方と産業集積地をつなぐ、地方間をつなぐ、外国から顔が見える機会を確保~

### ● 地方の大学に埋もれた優良な知財の技術移転機会の拡大

⇒ ネットワーク化を通じて、産業集積地での収入増につながる技術移転を実現

### ● 企業から、全国の優良な大学知財へのアクセス向上

⇒ 大学知財の利活用を通じた研究開発の活性化

### ● TLOにおける複数大学との取引拡大による機能強化

⇒ 知財のパッケージ化、アレンジによる事業提案力の充実

### ● 外国から顔が見える技術移転版ゲートウェイの実現

⇒ 専門的仲介により、外国企業とのマッチング促進

### 【事業概要】

#### <地方版ハブ>

- TLO不存在等の地方において、大学の技術移転活動を担う広域対応可能なハブを形成

⇒ 優れた技術移転活動を行う先進的TLOがハブ機能を担う。さらに各地方のハブのネットワーク化による取引機会の拡大、専門的目利きによるソリューションの提供

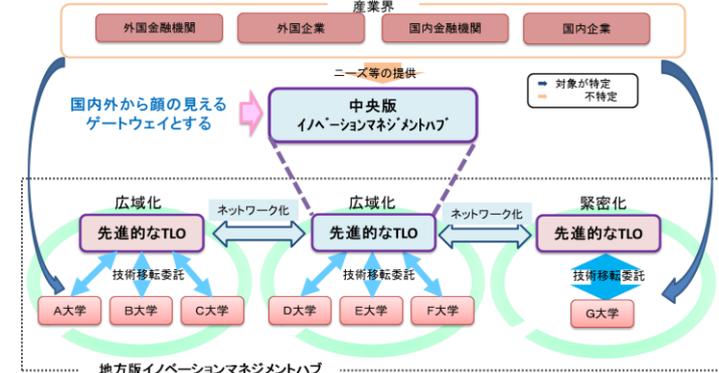
#### <中央版ハブ>

- 地方版ハブのうちセンター的拠点を整備

⇒ 技術移転窓口の一元化による産業界の利便性向上、専門人材を通じた外国からの収入拡大

### 【事業スキーム】

- 支援対象 優れた技術移転活動を行う承認TLO (地方版ハブの広域化支援 : 4拠点程度、中央版ハブ機能支援 : 1拠点)
- 事業規模 地方版ハブ支援 : 9.5百万円/年  
中央版ハブ支援 : 7.0百万円/年
- 事業期間 5年間



統合イノベーション戦略 (平成30年6月15日 閣議決定)

文部科学省は、2019年度より大学、産業界、TLOのネットワーク強化を図るなど、イノベーションマネジメントハブ(仮称)の形成に向けた取組を通じて大学研究成果の効果的な技術移転活動を推進